

（1）大会申込時の確認事項〔顧問、選手、チーム関係者、保護者〕

大会参加に当たり、大会運営マニュアルを遵守すること。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを確認すること。

本専門部が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられる。

1) 大会参加に伴う確認事項

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 大会参加に伴い、保護者よりの大会参加願い（同意書）および当日の健康チェックシートの提出をすること。（参加者名簿の準備が必要な会場あり。）
- ③ チーム関係者は、当日の健康チェックシートの提出をすること。
- ④ 厚生労働省から提供されている新型コロナ感染症接触確認アプリ（COCOA）の利用を推奨する。

2) 大会会場での注意および確認事項

- ① **マスクを持参**すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを**着用**すること。）。
- ② こまめな手洗い、アルコール等による**手指消毒を実施**すること。
- ③ 他の参加者等との距離（できるだけ1m以上）を確保すること。観覧席では、人との間に荷物を置くなど距離を空けて座ること。
- ④ 競技中以外の場面において、大きな声で会話、応援等をしないこと。観覧席での声を出しての応援、立ち上がっての応援、太鼓やペットボトルを打ち鳴らしての応援は禁止とする。
- ⑤ チーム内での消毒に関して、消毒用具（アルコール除菌スプレー、除菌シート等）は各チームで準備をすること。
- ⑥ 感染防止のために本専門部が決めたその他の措置の遵守、主催者および使用施設管理者の指示に従うこと。
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、または PCR検査を受けた場合は、専門部に対して速やかに陰陽性、濃厚接触者の有無等について報告すること。

3) その他、感染防止対策のための処置

- ① ホイッスルはコート毎に準備をしている電子ホイッスルを使用する。
（審判員持参の電子ホイッスルの使用可。）
- ② 本部席および各コート I F 席にアルコール消毒液を設置する。

- ③ 会場（体育館）への入場は、チーム関係者および部員（1，2年生）のみとし、保護者、卒業生、友人、一般の方等の会場内への入場は禁止する。部員はチーム指定のジャージー或いは制服を着用。（マネージャーとして3年生をベンチに入れる事は可能とする。）
- ④ 会場出入口に大会運営の趣旨を示した立て看板を設置する。（必要な会場は、持ち帰る。）
- ⑤ 本部席に、非接触型検温計および体温計を準備する。
- ⑥ 館内の消毒作業（トイレ、ドアノブ、手すり等）および換気を行うために、試合時間が変更となることがある。（隣接するコートで試合開始時間の調整を行い、換気を行う。）
- ⑦ 換気のために、出入口を開放していることもある。
- ⑧ 送迎の保護者は、会場駐車場にて部員の乗降のみとする。特に、学校会場とする場合、当該校の保護者であっても校内に留まることを禁止とする。完全無観客のため、アリーナの換気のために解放している出入口等からの観戦も禁止とする。（チームの顧問が責任を持って指導すること。）

（2）当日の打合せ時の確認事項〔顧問〕

大会当日の開館直後の顧問打合せにおいて、以下の項目について確認すること。

1）健康管理についての確認事項

- ① 会場内の手指消毒剤、石けん等設置場所の確認および手洗いの励行指導。
- ② 発熱が軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は、入場しないように顧問が指導する。
- ③ 各チーム体温計を持参し、別紙【健康チェックシート】の管理の下、選手の体調管理に努める。
- ④ 試合に参加している選手以外のマスク着用要請。
- ⑤ 選手の待機・更衣・飲食・練習場所の確認および指導。（各所で密にならない。）
*特に昼食場所を制限し、感染拡大予防に努めること。（会場校の指示に従う。）
- ⑥ 試合前のウォームアップにおいて、感染症対策に留意するよう指導する。
- ⑦ 水分補給における回し飲みの禁止。タオル、アイシングバッグ等の共用禁止。
- ⑧ ユニホームの共用は禁止。リベロのユニホームが足りない場合、リベロゼッケンはチームで準備する。（本部からの借用不可。）
- ⑨ ゴミの各自持ち帰りとその指導。（駅等で捨てることの無いように、公共のマナーに注意すること。）
- ⑩ 関係する試合終了後、部員は石けんを使っての手洗いをを行うこと。また、30分以内に会場を出ること。（会場周辺でのミーティングも禁止し、速やかに会場から離れること。）

2）大会運営についての確認事項

- ① 開場後、直ぐに顧問打合せを行う。（チーム出欠確認含む。）その後コート責任者の指示の下、全ての顧問がコート準備および会場準備にあたること。
- ② 会場集合時間を厳守すること。会場入場は、最初の試合プロトコール1時間前とする。
- ③ プロトコールは、次の設定時間とする。前の試合が設定時間を超える場合は、前の試合終了後、5分間の消毒時間の後、初めて試合を行うチームがある場合は15分間（合計20分間）、両チームとも2試合目の場合は10分間（合計15分間）の合同練習の後、プロトコールを行う。
* グループ戦においては、会場およびコート責任者中心に設定する。（昼食時間の配慮）
* 2日目（ジェイテクトアリーナ奈良、奈良文化、平群総合）

【開場時間 8 : 3 0】

第 1 試合 9 : 3 0 第 2 試合 1 0 : 4 5 第 3 試合 1 2 : 0 0 第 4 試合 1 3 : 1 5

第 5、第 6 試合は追い込み 1 5 分後。(女子 2 日目 c コートは第 5 試合 1 4 : 3 0 以下追い込み)

* 3 日目 (奈良学園)

【男子：開場時間 8 : 3 0】 【女子：開場時間 1 3 : 3 0 予定 (男子試合終了 30 分後)】

第 1 試合 開場時間 1 時間後 プロトコール 第 2 試合 第 2 試合終了 3 0 分後

決勝 第 2 試合終了 1 5 ~ 3 0 分後

- ④ 会場入りした部員およびチーム関係者の大会参加願ひ (同意書) および健康チェックシートの回収、保管を顧問が責任を持って行う。(後日、提出要請があった場合に対応できるようにすること。)
- ⑤ エントリー用紙およびラインナップチケットは、各チームで準備すること。専門部ホームページよりダウンロード可能。
- ⑥ 最終試合終了後、コートの撤去および借用施設の整備と消毒を全顧問で行う。

3) コート設営等について

- ① コート設営にあたっているチームの選手は、マスクを着用し、準備前に本部席に設置している消毒液で手指の消毒を行うこと。
- ② 会場およびコート設営には全てのコート関係チームの顧問で行うこと。
- ③ コート設営および第 1 試合補助員は、**第 3 試合のチームを原則とし生徒合計 1 2 名程度**とする。人数不足の場合は抽選会にて第 4 試合のチームに補充を要請する。
3 日目は、男子第 2 試合の両チームで**生徒合計 1 2 名程度**行う。
- ④ コート設営の間、第 1 試合のチームをアリーナ内に入場させないこと。
- ⑤ ボール、I F 用の机と椅子、ベンチ、フラッグ、電子ホイッスル、得点板およびフロア等の消毒作業はコート関係チームの顧問で手分けをして、試合ごとに行う。
- ⑥ ベンチは、椅子 1 脚ずつ間隔を空け 7 席配置すること。2 列設置してもよい。
- ⑦ ウォームアップエリアは、4 m 四方 (1 6 m²) でベンチ後方に設置することを基本とする。
* ベンチ後方に設置できない場合は、通常の場合に設置してもよい。

(3) 試合時の確認事項〔顧問、選手〕

ゲームの進行にあたって、以下の内容を遵守すること。

1) 試合開始までの確認事項

- ① アリーナへの入場について、第 1 試合のチームは会場設営完了後、以後の試合のチームは、消毒作業完了後とする。
- ② 試合終了後、速やかにチーム関係者はアリーナから退場すること。その後、審判員およびコート関係チームの顧問による消毒作業を行う。(約 5 分間)
- ③ ゲーム関係者はアリーナ内で練習を行う前および試合終了後、I F 席に設置している消毒液で手指の消毒を行うこと。
- ④ アリーナ内での練習は、ユニホーム着用の選手 (1 4 名以内) および監督、コーチ、マネージャー、トレーナーの各 1 名とする。ただし会場の状況により、コート間のボール侵入を防ぐ観点より、各チ

ーム4名のボール拾い担当者をアリーナ内に入れることができる。

- ⑤ ボール拾い担当者は、フリーゾーンでのボール拾いを中心とした役割および給水等の準備を行うことができる。ただし、公式練習終了後は、アリーナから出なければならない。
- ⑥ 合同練習から試合終了まで、コート練習およびゲーム中は、ボールを扱う選手およびチームスタッフのマスク着用の義務はない。(コート外の選手、スタッフは着用すること。)

⑦ 合同練習中、コート内での大きな声を出しての指示や声出しは禁止とする。

- 2) 試合に関する確認事項(トスの時に、審判より主将に口頭説明を行うこと。)
- ① 試合前後の挨拶は、エンドライン整列での礼のみとし、握手は行わない。
- ② 給水タイムは適用しない。
- ③ ベンチおよびウオームアップエリアにいる、ベンチスタッフおよび控えの選手、コートサイドで指示を行う監督も含めマスクを着用すること。ただし、随時リベロ交代する選手はその限りではない。
- ④ ゲーム中、コート内で円陣を組んでのミーティングは控えること。
- ⑤ ゲーム中、相手コートに向けて大きな声を出すことや、チーム内においても至近距離での大きな声を出しての指示等はできるだけ控えること。
- ⑥ ゲーム中、ハイタッチや靴底を手で触ることは控えること。
- ⑦ ゲーム中、チーム内においてもタオルの貸し借り、ドリンクの回し飲みは禁止とする。
- ⑧ クイックモッパーは、今大会は採用しない。
- ⑨ ベンチおよびウオームアップエリア、密集および声を出しての応援は禁止とする。
- ⑩ ベンチおよびウオームアップエリアは清潔に使用し、チェンジコートの際や試合終了後にゴミや忘れ物、ドリンクの飲み溢し等の無いようにすること。
- ⑪ 観覧席では、座席に着席をして拍手のみの応援とする。立ち上がったたり、声を出したり、太鼓やペットボトルを打ち鳴らしたりするような応援は禁止とする。

(4) その他

- ① 各チーム顧問は、「(1)大会申込時の確認事項〔顧問、選手、チーム関係者、保護者〕」および「1)大会参加に伴う確認事項」の「②大会参加に伴い、保護者よりの大会参加願ひ(同意書)および当日の健康チェックシートの提出」について、部員および保護者への十分な説明を行うこと。
- ② 各チーム顧問は、本「新人大会 運営マニュアル(新型コロナウイルス感染症対応)」の内容を確認し、事前にチームへの内容説明を行っておくなど、スムーズな大会運営に協力すること。
- ③ 当日使用するコートを基本に、コート設営や消毒作業、審判を行うために、各校顧問は必ず終日大会運営に協力すること。
- ④ 会場に入場する全部員(応援のみの生徒も含む)および、引率教職員、監督、コーチ、トレーナーの健康チェックシートの記入および管理は、各校顧問の責任のもとで行うこと。

※ グループ戦で負けたチームの顧問は、トーナメント1日目および準決、決勝大会において運営役員(審判員、消毒作業、会場警備)として大会運営にご協力ください。

※ 11月26日(木)常任委員会および抽選会にて最終決定とするが、大会開催日までの社会情勢を鑑み、以降変更となることもある。